

# 現職員一覧表

職名	氏名	研究教科	着任年月日	住所	所
校長	鈴木嘉明	理科	S 35. 4. 1.	東住吉区田辺東之町2の27	
教頭	高橋清正	学校行事	42. 4. 1.	東区寺山町490の1 府住190	
教諭	藤田田巖	社会	36. 4. 1.	旭区大宮町10の85	
"	西川守	国語	39. 4. 1.	堺市黒土町2345	
"	三輪政江	算数	33. 4. 1.	住吉区墨江西3の24	
"	前川守盛	図工	40. 3. 31.	堺市見野山218	
"	橋本頌夫	算数	36. 4. 1.	寝屋川市本田町21の23	
"	田名瀬善三郎	学校行事	31. 4. 1.	城東区南中浜町1の23	
"	吉野亨	特殊	42. 4. 1.	此花区春日出町330の5	
"	徳谷キタエ	国語	11. 3. 31.	東住吉区平野梅ヶ枝町4の6	
"	四条愛子	家庭	26. 4. 1.	堺市上野芝向ヶ丘町1の908の4	
"	正木勝	保健体育	40. 4. 1.	西成区姫松通2の67	
"	河野静雄	音楽	38. 3. 31.	住吉区中加賀屋町3の11	
"	竹沢増雄	体育	42. 4. 1.	奈良県生駒郡平群村字三里414の15	
"	前川清	特殊	41. 4. 1.	生野区猪飼野中6の15	
"	木村由利子	国語	36. 4. 1.	旭区森小路5の177	
"	藤井勝子	音楽	39. 4. 1.	堺市白置荘原寺185	
"	丸岡浩	国語	41. 4. 1.	東住吉区喜連町1296 西喜連住宅27の403	
"	北辻由紀子	算数	38. 9. 1.	西成区新開通1の10	
"	吉野武	特活	38. 4. 1.	守口市金下町1の11	
"	青井邦子	理科	42. 4. 1.	尼崎市塚口町6の27の8 静和苑	
"	向川幹雄	国語	40. 4. 1.	阿倍野区阪南町3の33の14	
"	大谷正	社会	42. 4. 1.	八尾市黒谷100の7	
"	桦山亨子	国語	38. 9. 1.	羽曳市北宮78	
"	石田洋一	理科	38. 5. 1.	奈良市御所馬場町1098	
"	福森正幸	社会	40. 4. 1.	泉大津市西港町10の2	
"	柳沢佐千子	家庭	40. 4. 1.	豊中市利倉東町37	
"	白崎みゑ子	国語	41. 4. 1.	西成区千本通4の9	
"	小林路子	家庭	40. 4. 16.	堺市大美野134	
養護教諭	藤田律子		26. 6. 6.	住吉区墨江中4の50	
書記	浜田鈴子		42. 4. 12.	港区桂町1の7	
図書館	高見当子		35. 1. 20.	住吉区刈田町1の39	

# 校務分担一覧表

教務部 部長(正木)	教務係	○正木、河野、前川清、向川、白崎
	現職教育係	○正木、河野、丸岡、白崎
	図書係	○向川、高見
	学芸行事係	○河野、田名瀬、前川守、向川、藤井
	視聴覚教育係	○丸岡、前川守、竹沢、青井、柳沢
	特殊教育係	○前川清、吉野卜、藤田イ
	同和教育係	○河野、正木
	学校新聞係	○向川、藤田イ
	教材開発係	○石田、理科部、美化部
	休育係	○竹沢、丸岡、木村、福森、白崎
健康教育部 部長(竹沢) 保健主事(正木)	保健係	○正木、藤田リ、吉野卜、小林
	給食係	○徳谷、四条、藤井、惣山、青井、藤田リ
	美化係	○大谷、吉野卜、四条、白崎
	生活指導部 部長(河野)	○河野、橋本、吉野タ、石田 ○三輪、木村 ○河野、吉野タ、石田 ○石田、河野、木村 ○吉野、福森 ○竹沢、河野、福森
庶務部 部長(西川)	庶務係	○西川、橋本、藤田イ、藤井、北辻、高見、浜田
	文書係	○藤田イ、田名瀬、三輪、藤井、柳沢、浜田
	社会教育係	○藤田イ、四条、徳谷、木村、惣山、田名瀬
	学籍係	○木村、藤井
	備品係	○石田、大谷、藤田イ
	消耗品係	○徳谷、北辻、青井
	計理係	○小林、西川、惣山、浜田
	調査係	○三輪、西川、柳沢、小林
	児童給品係	○吉野タ、北辻、柳沢、青井
	厚生係	○田名瀬、浜田

# 年間主要行事

入学式もおわり

集団登校が始まります。



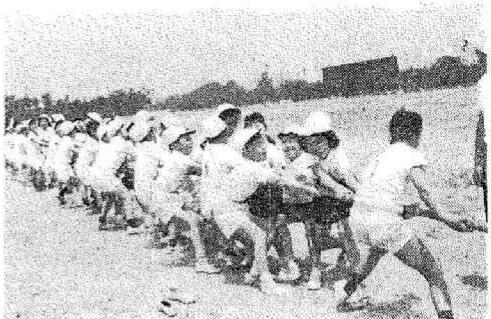
連足 みんなぬれたタオルで手をふき汗をふいてたのしくおべんとうをたべました。



修学旅行 伊勢方面への卒業旅行は一生の思い出になるでしょう。



小運動会 ひろびろとした住の江公園で力一ぱい走り力一ぱい運動しました。



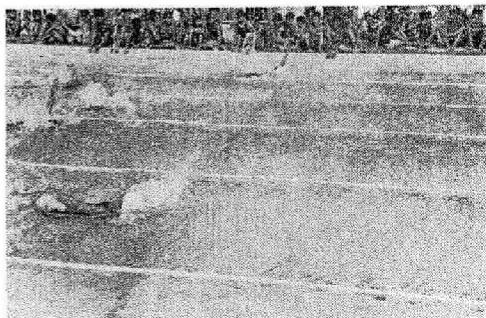
臨海学舎 5・6年がいっしょになって岩狭高浜で水泳訓練をしました。



歯みがき訓練 みんなきれいな歯になってきました

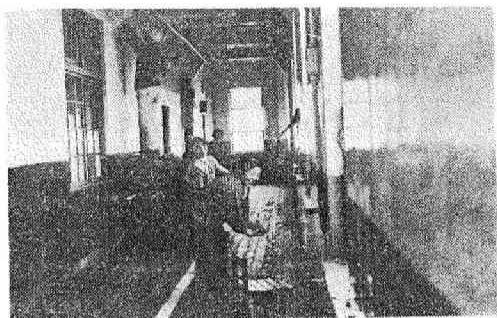


プール開き さあ、きょうからプール、たくましい体をつくろうとはりきっています。

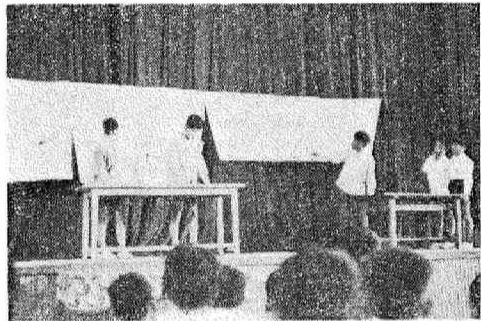


## 年間主要行事

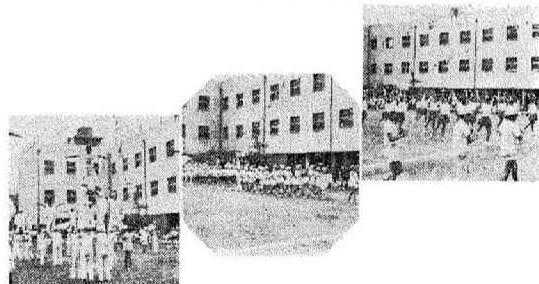
PTA清掃 每学期始まる前に学校を美しくして  
くださいます、おとうさんおかあさん  
ありがとうございます。



校内研究発表会 休み中の観察や研究をもとに毎年発表会をもっています、だんだんじようすになってきました。



大運動会 たのしく、ゴミのない運動会としてたいへん成果をあげてきました。



学芸会 だんだんりっぱな学習発表会になってきました。



音楽会 ふだんの音楽学習の成果を発表してきました。



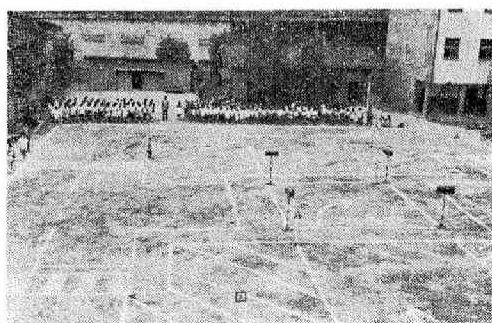
おかあさん方のコーラスもふだんの練習の成果がよくあらわれ拍手をあびました。



退避訓練 毎月だまって正しく早くを、目標に練習をしています。



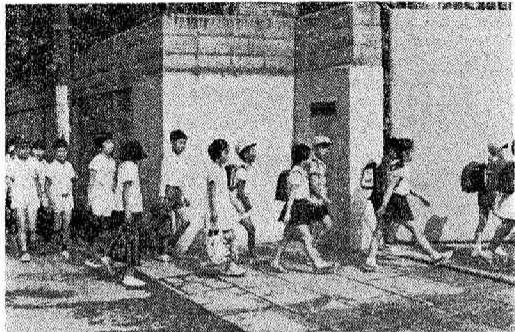
交通安全指導 正しく交通のきまりを守ってがや事故のないように気をつけています。



# たのしい学校生活

数日にわたる、そう勤にもかかわらず、こどもたちは明るく元気によく学び、よく遊び、昨年度表彰を受けた健康優良学校大阪府準一位にふさわしく、學習に、クラブ、部活動、課外活動等学校生活をたのしんでいる。

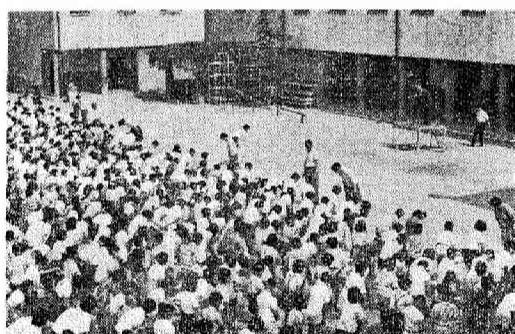
朝の集団登校



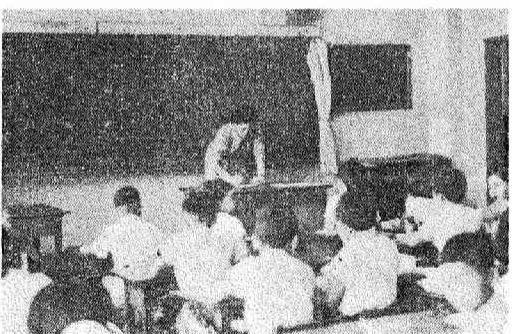
きょう一日の計画を相談する先生方の朝礼



「先生おはようございます」児童会会長の号令で朝礼がはじまる



朝の健康観察と清潔検査はなかみ、ハンカチ忘れたり人はいませんか



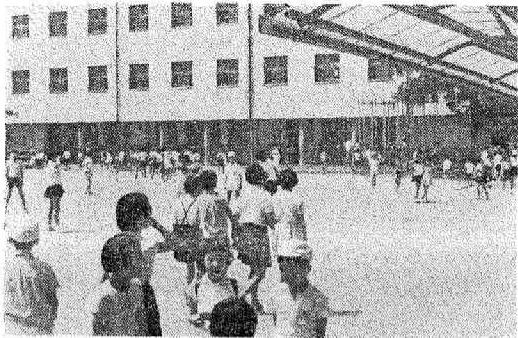
さあ學習がはじまった  
ハイ！ハイ！と元気よく手をあげる一年生



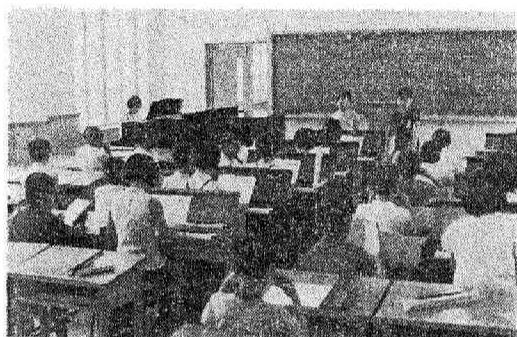
図書館でもべんきょう。たくさん本があって楽しむな



近づく時間は運動場で元気いっぱい



新しくできた音楽教室オルガンもたくさんあってみんながひける



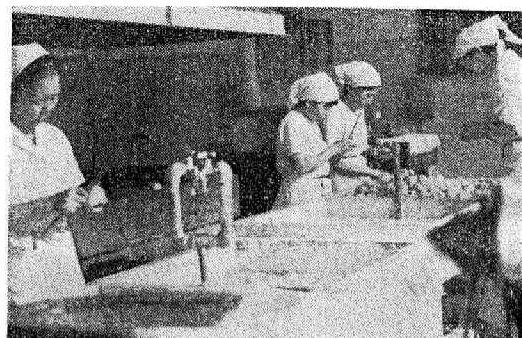
給食とうばんごくろうさん



給食がすんだら一せい清掃、先生もいっしょにやってください



おひるにまにあうよう給食のおばさんはいそがしい



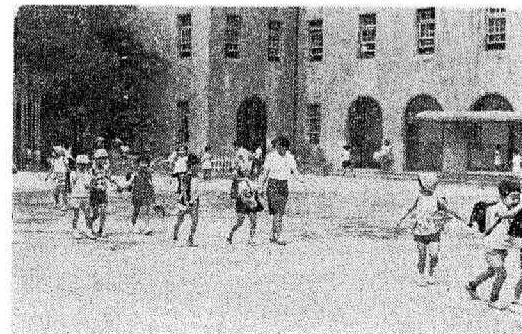
4時間のおわりのチャイムがなった一番うれしい給食です。みんなうがいをしたり、手をあらいます。



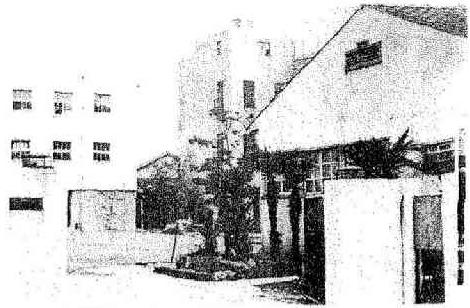
先生といっしょうれしいな



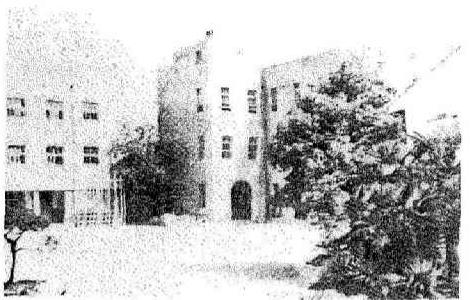
先生におくってもらって一年生は帰ります



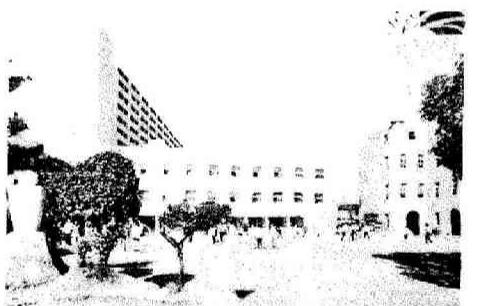
- 昭和 34・4・6 正門外柵工事完了
- 35・9・18 東校舎一階 2 教室を給食調理室に改装
- 35・12・9 木造平屋建校舎新築
- 37・8・ 講堂建設のためパネル式校舎撤去
- 38・2・22 講堂竣工
- 38・6・8 プール外柵ブロック工事完成
- 39・6・ プール浄化装置完成
- 40・2・ 北校舎 1 階 1 教室を特殊教室に改装
- 41・1・24 納食室風防工事及び屋根付渡り廊下完成
- 42・4・30 東校舎 1 階 2 教室を音楽室に改装
- 42・5・10 体育倉庫の改築
- 44・10・24 校地（北東の一角）拡張
- 50・5・20 東校舎東側の窓、アルミサッシに取替
- 51・5・24 東校舎 2 階北 2 教室を図書館に改装
- 51・8・31 プール浄化装置付け替
- 51・11・2 北校舎 1 階 1 教室を第 2 保健室に改装
- 53・3・3 北校舎 1 階 1 教室を養護学級教室に改装
- 53・5・2 木造平家屋南校舎解体
- 53・5・29 東校舎西側の窓、アルミサッシに取替
- 53・10・19 鉄筋コンクリート造り 2 階建南校舎竣工  
(玄関・管理作業員室・放送室・会議室・家庭科室・家庭科準備室)
- 54・3・1 鉄骨平屋建講堂解体
- 54・8・31 鉄骨造平屋講堂兼体育馆竣工
- 54・10・15 通用門及び講堂南側の塀改装



▲昭和33年頃校門より校舎を写す

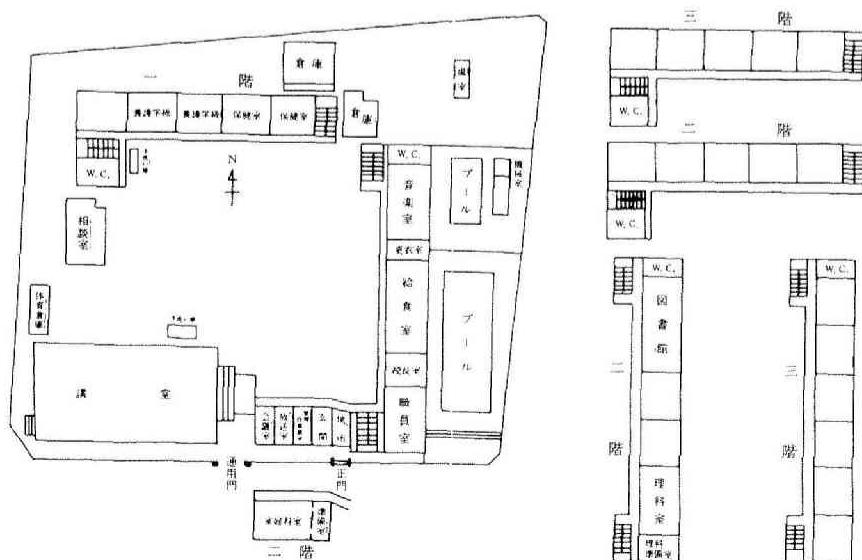


▲昭和38年頃校門より校舎を写す



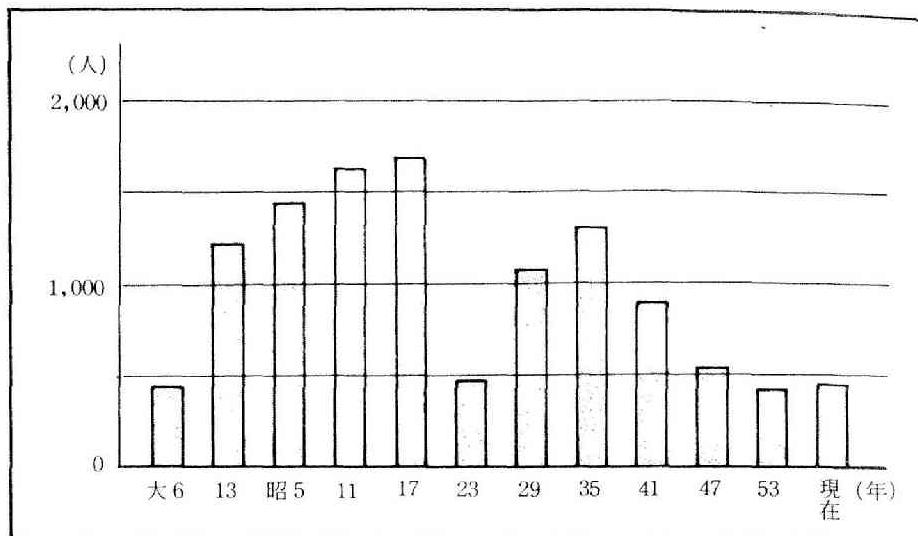
▲昭和48年頃校門より北校舎を写す

## 校舎平面図

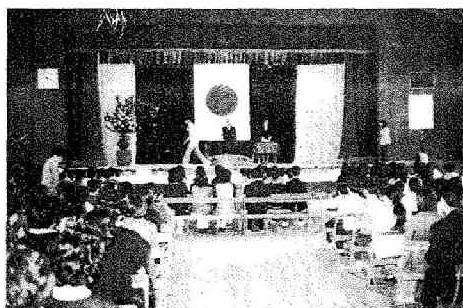


# 該当年度における児童在籍数

(昭和54年現在卒業生総数 9738名)



## 学校生活の今昔



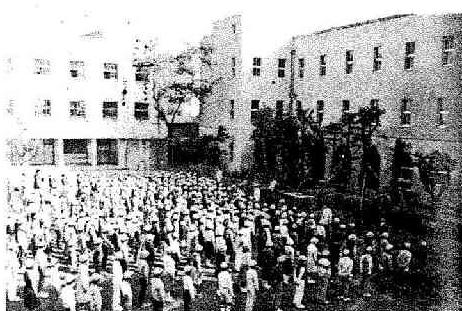
▲旧講堂での卒業式  
(昭和50年3月)



▲旧南校舎前を走る耐寒かけ足  
(昭和49年2月)

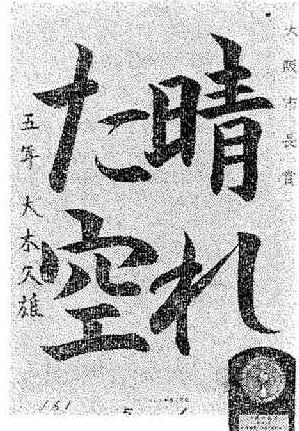
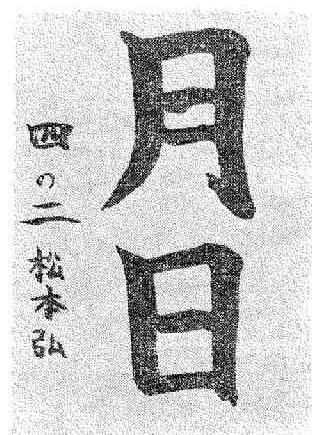
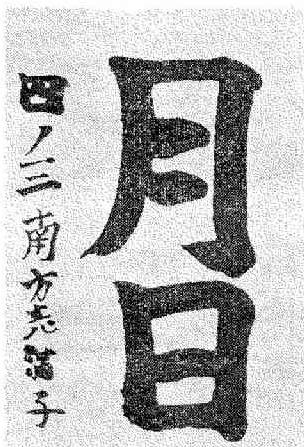
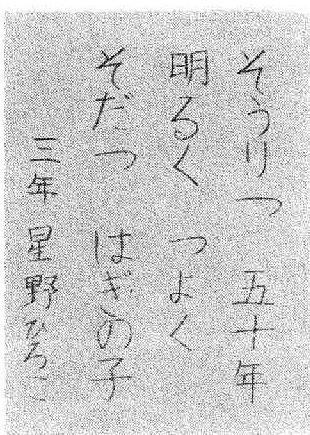
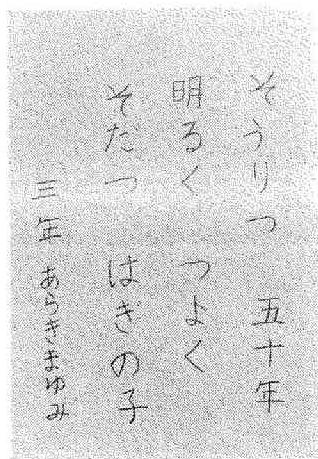
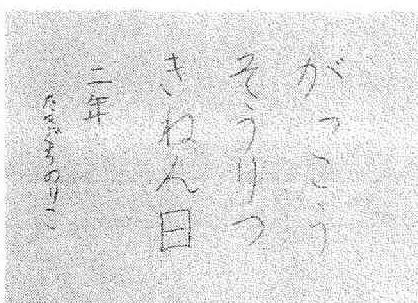
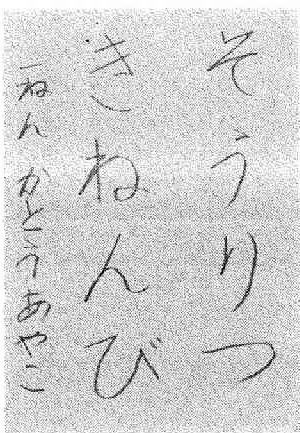


▲新しい玄関前の登校のようす  
(昭和53年11月)



▲全校朝会  
(昭和54年10月)

(習字)



大阪市長賞を受く

## 創立50周年記念

6年3組 山下明子

わたしたちの萩之茶屋小学校が立ってから、ことしでちょうど、50年になります。わたしたちの、おにいさんやおねえさんたちが、この学校で学びはげんだのです。この萩之茶屋小学校は、大正6年に立てられたのですから、今までこの学校で学んだ人たちは、ずいぶん苦労したんだろうと思います。大正にうまれてきた人たちの学校は、わたしたちのように、りっぱな校舎や、りっぱな講堂ではなく、全部木造だったと思います。それから戦いをやっている時に、うまれてきた人たちはそれよりもなお不幸だったと思います。それは戦争のためこの学校も一時あれて、勉強どころではないと、思ったからです。そう思うと、わたしたちは幸福です。学校の設備もよくできていますし、りっぱな講堂もあります。だから、わたしたちは文句はありません。

わたしたちの学校は50年の間、いろいろなことを、見てきました。わたしたちの知らないことも、学校は知っています。萩之茶屋小学校は人間でいえば50才です。萩之茶屋小学校は50年という長い間いろいろなおこないを見てきました。50年もの間、先生が出ていったり、入ってきたりしました。けれど私たちは、そんなことは、かまわないというふうでした。そして校長先生も変わりました。ことしは、やさしかった一位校長先生がちがう学校に変わりました。けれど萩之茶屋小学校は変わりません。わたしたち6年生は来年卒業しますが、これからも、この萩之茶屋小学校をもっと、りっぱにしてほしいとわたしはねがっています。萩之茶屋小学校、ばんざい。

## 50周年の萩の茶屋小学校

5年1組 山崎知恵子

萩の茶屋小学校は、今年で50才です。父も、この萩の茶屋小学校をでました。父の話を聞くと、新こうしゃはまだたっていなくて、こうどうも木造だったそうです。

男女別々の組だったそうです。

学校の前は、畑でねぎがいっぱい植えてあったそうです。そのころの校長先生は、正井来三郎校長先生と父がいっていました。そのころの学校の名前は、萩之

茶屋小学校とはいわないで、今宮第三じんじょう小学校といったそうです。

父がそつ業してからは、第2次世界大戦できゅうこうしゃだけのこして、あとは、みんな焼けてしまったそうです。

それからまた、学校をたてなおして、少しだってから、また、火事で焼けてしまったそうです。それからまた学校をたてなおし、それが今のこうしゃだろうと父はいっていました。

それから今は、こうどうも、てっこんででき、ブルもいいのができました。体育そうこも今年新しいのができました。草花もたくさん植え、池もでき、はんとうぼうもできました。

きょ年は、先生や生徒たちの努力によって、けんこうゆうりょう学校準1位として選ばれました。

こういうふうにまい年成長していく萩之茶屋小学校を見て、わたしたちも、たいへんうれしいことです。

## わたしたちの学校

4年4組 河合由美子

わたしたちの学校は、緑が多くて、わたしの教室の新校しゃから、南海電車が見えます。

わたしの学校には、はんとうぼう、こうどう、鉄ぼうなどいろいろなものがあります。でも、多ぜいのせいで、それらのものは、こんでいます。

ほかの学校へかわる人、てんこうしてくる人いろいろあります。

こうむいん室のおじさんは、ごみをひろってくれたり、いろいろのことをしてくださいます。

先生は、いっしょうけんめいおしえてくださいます。遠い所から、まい朝、早く起きて、きてくれる先生もいます。今までの校長先生は、とてもやさしい方で、この、萩之茶屋小学校のために、5年間もど力してくださいました。

前までの、きょうとう先生が、校長先生になり、新しく、きょうとう先生が、はいってこられました。新しい校長先生も、きょうとう先生も、とてもやさしい方です。

この萩之茶屋小学校には、新しく、音楽室ができました。わたしたちみんなは萩之茶屋小学校のために、ごみをひろったり、らくがきをかけたりいっしょけんめいします。

## 楽しい学校生活

## 楽しい学校生活

## 楽しい学校生活

### そうりつ50年きねん

3年4組 城井ひろみ

わたしは、はじめ学校が、うまれて50年目とはしませんでした。でも、先生からお話をきいて、わかりました。

この学校を、おいわいするときは、げきもするし、わたしたちの作品のてんらん会もひらくそうです。

わたしは、先生から、「もう、この学校は、50才ですよ。」と、いわれたとき、わたしは、『わあーこの学校も、50才か、だいぶん、としとて古い学校なんだなあー』と思いました。

はじめは、きゅうこうしゃしかなかったのですよと先生はいわれました。すると、せいともだいぶんすくなかつたし、また、きゅうこうしゃだけだったから、だいぶんと小さな学校だったんだなあーと思いました。それが今では、こうどうや理科室や音楽室ができ、ずいぶんりっぱな学校になってきました。これからも、りっぱなものができ、わたしたちもいっしうけんめいがんばって日本一すばらしい学校にしていき

たいとおもいます。そして心から「おめでとう。」といってあげようとおもいます。

### お て つ だ い

2年2組 まつながたつや

きのうは、おかあさんの、うんどう会でした。おかあさんは、きのうのうんどう会であしを、けがしているので、いちばも、ちゃわんあらいもできません。ぼくとおねえちゃんは、おかあさんに、てつだってあげました。おかあさんはぼくとおねえちゃんを、ほめて20円ずつくれました。ぼくは、20円もって、おかしやで、「クリームちょうだい。」といって、ふくろにいれてもらって、かえりました。おかあさんにもすこしあげました。おかあさんは、「ありがとう」といってまた10円くださいました。ぼくは、「ありがとう。」といってちょきんぱこへ、10円ちょきんしました。10円玉は、ちょきんぱこの中に、かちゃんと、なりました。

## 児童会活動の組織

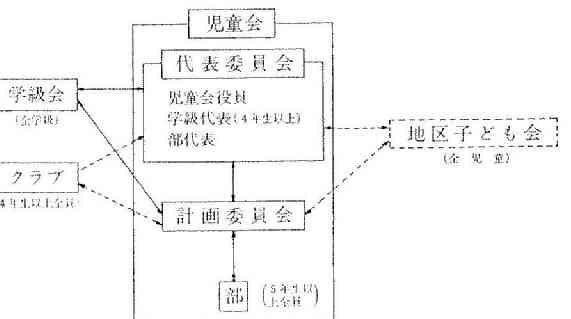
学校環境の充実にともない、児童たちは、自分たちの学校生活を、より楽しく、より豊かにしようという意欲が、いっそう盛り上がってきている。そして、それらの問題について、自発的に、自治的に、話し合って解決していくこと、下のような組織によって、活発に活動し、また努力している。

### 部活動とクラブ活動の現況

児童たちは、先に述べた目的を達成するための1部面として、部活動を行ない、学校内の仕事を分担し、創意やくふうをしながらそれを処理している。また、クラブ活動をとおして、自主性、自発性を伸ばしている。

### 部 活 動

部名	児童数	班数	活動状況
新聞	12	2	・毎月1回、高学年向きと低学年向きの壁新聞を発行。
放送	14	6	・始業前・給食時・放課後の校内放送と朝礼・運動等の放送準備や協力。

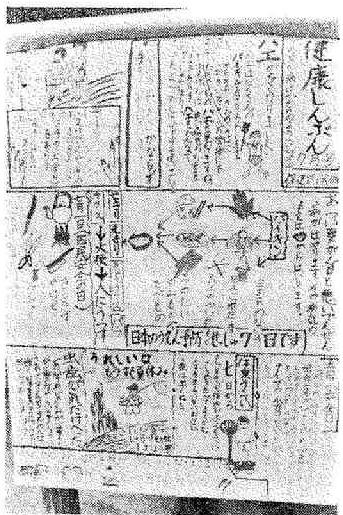


掲示	6	1	・玄関・おどり場の掲示板に、児童作品・写真・ポスターなどを、集めたり作ったりして掲示。
保健	38	5	・保健室・手洗場の清潔。けがの手当の補助や原因調査・統計・掲示。清潔検査の統計・掲示。消毒液の補充。欠席および健康観察簿の配布・集計。毎月健康新聞(かべ新聞)発行。ポスター作成掲示。
体育	38	10	・体育用具の安全点検・整備。遊びの調査とよい遊びの紹介。
給食	28	2	・運び方・くばり方の調査とくふう。当番の服装・手洗い・指定階段の使用状況調査。献立紹介、残量調査。
飼育栽培	18	6	学校園の手入れと世話、栽培の計画とくふう。
安全	39	8	・廊下・階段の歩行指導。危険な遊びの発見と、よい遊びの奨励。安全生活の啓もう、集団登校の状況調査と改善のくふう。
美化	29	2	・清掃用具の整備や清掃のしかたのくふう。清掃状況の調査。
会計	10	1	・教育設備助成マーク集めや整理のくふう、各種募金への協力。
図書	16	6	・図書の整備・貸出し・修理。図書の紹介。利用状況調査。

## ク ラ ブ 活 動

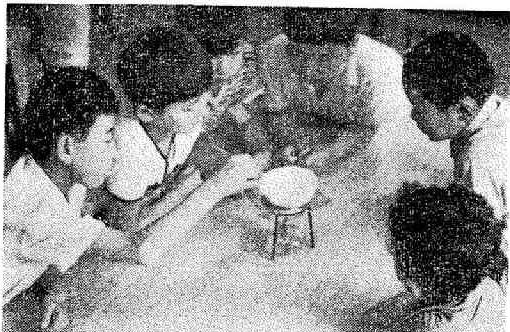
本校では水曜日の6時限クラブの時間になっている。4年生以上全員が、それぞれ希望する部に入って自主的に計画をたてて活動している。学年、学級のわくをはずして互に協力し研究しあうこのクラブ活動もこどもにとって楽しい学校生活の一こまである。

クラブ名	児童数	班数	活 動 状 況
郷土	41	10	・校下の地図を作成し、古蹟を調べて記入する。校下の実態をいろいろな角度から調査する。
統計	4	1	・いろいろな資料を集計し、それに適する表やグラフを作る。
科学	71	15	・創造的な模型工作、生物の観察、化学実験。
器楽	35	1	・合奏をする。いろいろな楽器に親しむ。名曲鑑賞をする。
美術	20	1	・いろいろな素材を使って、描画・工作・デザイン・版画をする。
書道	32	2	・いろいろな目的に合った素材や文字をくふうする。
手芸	53	4	・いろいろな素材を使って、季節的な実用品を創作したり、ししゅうをする。
裁縫	38	2	・いろいろな縫い方を応用したり、ミシンを使って創作する。
スポーツ	71	4	・ボール運動を主とし、陸上運動・器械運動・その他の運動をする。
バトン	30	3	・リズムに合わせてバトン操作や隊形をくふうしたり創作する。
文芸	4	2	・読書をし、記録をしたり感想文を書いたり、作文をしたりする。

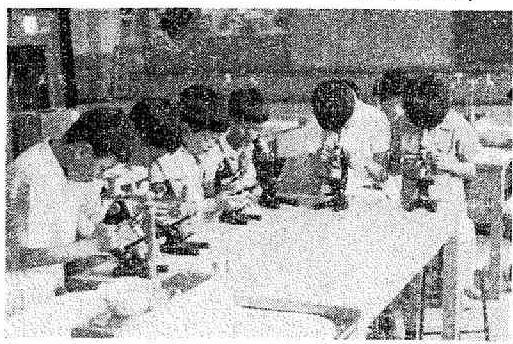


部活動（保健部活動の一例）

おやつ、なにを見ているのかなしんけんな顔で顕微鏡をのぞきこむ豆科学者たち（科学クラブ）



あれあれガソのくすりでも発見したのかな  
(科学クラブ)



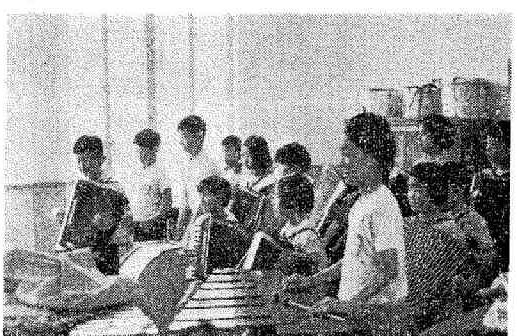
クラブ活動（バトン部活動の一例）



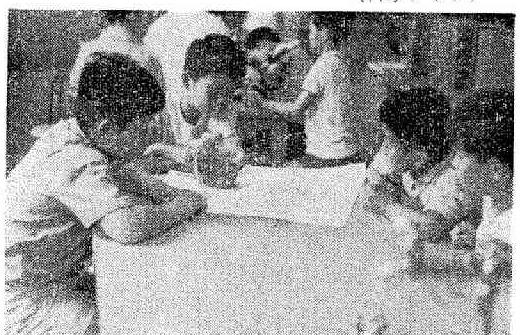
きびしい練習を続けるバトンクラブ、どの顔も汗びっしょり



新装なった音楽準備室で合奏をたのしむ音楽クラブ



人体模型をつくる未来のお医者さん  
(科学クラブ)



## 歴代 P.T.A 会長



川村 喜一 印刷商  
第一期 昭和23年

今宮第三小学校廃校問題で大きわぎした前後  
援会長吉田繁重氏のあとを引きつき維持発展  
に努められた人である。  
萩之茶屋小学校と改称する。



大西 元徳 株式会社  
第十一期 昭和33年  
第十二期 昭和34年  
第十三期 昭和35年

鉄筋6教室を増築し木造平家にあった給食場  
を鉄筋1階に移工改修した、校舎の正門外柵  
事を完了する。



朝田 善吉 金属工業社長  
第二期 昭和24年  
第三期 昭和25年  
第八期 ム 30年  
第九期 ム 31年  
第十期 ム 32年

ジェーン台風のため木造平家の給食炊事場倒  
壊する。  
開校40周年記念事業としてプール創設完成す  
る。



時枝 静夫 水道工業  
第十四期 昭和36年  
第十五期 昭和37年

特殊学級教室を増設し特殊学級をおく。  
ガス暖恒装置が完了する。  
パネル教室を撤去し講堂を新築する。  
校門その他を改装する。



河合 福由 旅館経営主  
第四期 昭和26年  
第五期 昭和27年  
第七期 ム 29年

木造平家建校舎（現保健室、校務員室）を竣  
工する。  
開校35周年式典をあげる。  
鉄筋3階建9教室を建設する。



矢野 一幸 食糧品商  
第十六期 昭和38年  
第十七期 昭和39年

旧鉄筋2階に理科教室を改装する。  
特殊学級教室を改造し2学級にする。



朝田 政治郎 金属工業支配人  
第六期 昭和28年

パネル式木造4教室を竣工する。

渡部 佐蔵 旅館経営

第十八期 昭和40年  
第十九期 昭和41年  
校庭の築山を移転させて講堂の前に改築す  
る。  
体育倉庫と音楽室の改装をはじめる。

巽 章 不動産業

第二十期 昭和42年  
体育倉庫音楽室完成する。  
開校50周年式典をあげる。

# 旧 証 員 一 覧 表

(昭和42.6.15日現在)

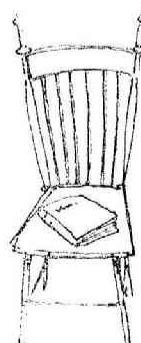
氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況	氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況
平田 啓藏	6. 6. 8	0.11	難波第一へ	江崎 一義	8. 1.26	1. 4	今宮第一へ
諏訪部 和一	6. 6. 8	10.10	退職	藤井 滉之助	9. 1.20	1. 3	今宮第一へ
井川 修蔵	6. 6. 8	0.11	退職	高山 秀夫	9. 2.20	0. 7	豊崎第五へ
菅沼 隆俊	6. 6. 8	1. 2	今宮第一へ	鈴木 真吉	9. 3.31	1. 1	今宮第四へ
小林 ハル子	6. 6. 8	3. 5	退職	藤井 清一	9. 3.31	1. 1	今宮第四へ
土居 英子	6. 6. 8	3. 5	今宮第二へ	山瀬 シゲ	9. 4. 5	1. 0	今宮第四へ
永田 孝之	6. 6. 8	3.10	今宮第四へ	松田 シヨ	9. 6.17	12. 0	退職
速水 多満	6. 6.28	0. 4	退職	橋本 徳太郎	9. 7.21	0. 9	今宮第一へ
木下 とよ	7. 2.27	5.10	退職	青木 エツ	9. 10.27	0. 6	今宮第一へ
永井 積威	7. 3.22	3. 1	今宮第四へ	広瀬 美能利	9. 10.29	0. 6	今宮第四へ
青山 和	7. 3.31	0. 8	退職	近藤 絹与	9. 11. 8	0. 5	今宮第四へ
宮地 庄吉	7. 3.31	1.11	池田附属へ	沢田 覚次	10. 3.31	0. 8	兵庫県へ
篠原 多嘉子	7. 3.31	3. 1	今宮第一へ	高橋 いさ	10. 3.31	0. 4	退職
谷口 精治	7. 4. 2	3. 0	今宮第四へ	三近 芳松	10. 3.31	0. 3	退職
高樹 美野	7. 4. 4	2. 8	玉出第三へ	河崎 愛之助	10. 3.31	1. 7	泉州、西葛西へ
大山 佐七	7. 5. 8	0. 6	退職	源島 泰一	10. 3.31	2. 2	豊崎第四へ
山中 伊尹	7. 7.31	0. 6	退職	野村 官一	10. 3.31	2.10	豊崎第三へ
竹本 錄松	7. 7.31	1. 1	今宮第二へ	宮井 茂雄	10. 3.31	2.10	豊崎へ
安福 敏昭	7. 8. 8	2. 8	今宮第四へ	森田 カメノ	10. 3.31	8. 1	退職
佐野 辰藏	7. 8.15	2. 8	今宮第二へ	川崎 友之助	10. 3.31	4. 7	退職
岡島 喜三郎	7. 9. 1	0. 3	死 亡	近藤 よしゑ	10. 3.31	5. 1	塩草へ
和田 勝三	7. 9. 1	0.10	退職	早野 貞女	10. 3.31	11. 0	退職
水橋 フクエ	7. 9. 1	0. 6	退職	田島 敏子	10. 3.31	1. 1	玉出第三へ
小林 好枝	7. 9. 1	0.10	退職	武田 ヨシエ	10. 3.31	6. 1	退職
森田 信覚	7. 9. 2	0. 2	退職	和田 庄司	10. 3.31	4. 1	川北へ
森脇 富美子	7. 9. 3	0. 3	退職	西田 仁太郎	10. 4. 5	0. 2	退職
大森 光治	7. 9.10	0. 7	佃小学校へ	申堀 ヒロ	10. 4.13	1. 8	今宮第五へ
上脇 フジノ	7. 2.19	2. 5	今宮第四へ	伊与田 素吉	10. 4.16	1. 8	今宮第五へ
八木 長	7. 2.25	0. 6	退職	原 知夫	10. 4.19	2. 4	死 亡
有馬 清子	7. 3.16	2. 4	今宮第一へ	桧垣 マサ	10. 4.20	1. 8	今宮第五へ
小西 てい	8. 1. 6	1. 5	退職	津田 道雄	10. 4.28	10. 5	退職
姫野 武	8. 1. 6	1. 5	兼任を解く	尾前 コト	10. 8.13	1. 4	今宮第五へ
松本 ミヨシ	8. 2. 5	2. 2	今宮第四へ	高塚 茜子	10. 8.17	5. 2	退職
浜口 竹代	8. 2.12	1. 2	退職	堀内 助吉	10. 8.23	1. 4	今宮第五へ
一色 トタ	8. 2.28	2. 2	今宮第四へ	宮崎 昇	10. 8.30	0. 8	中津第一へ
保田 多郎	8. 3.31	1. 7	豊崎第五へ	信田 オコ	11. 3.31	0. 9	今宮第五へ
高野 春子	8. 4.30	1. 0	退職	佐藤 幸雄	11. 3.31	1. 1	中津第一へ
福井 岩太	8. 4.30	1. 0	岡山県へ	松浪 甚四郎	11. 3.31	1.10	今宮第五へ
木村 波津子	8. 5.20	5. 4	退職	富田 貞三	11. 3.31	3. 5	阿部野へ
原田 繁雄	8. 6.24	0. 7	退職	後藤 一郎	11. 4.20	1. 0	大和田へ
谷口 義広	8. 6.30	2. 1	稗島校へ	赤阪 美津二	11. 8.31	1. 5	退職
堀口 鹿治郎	8. 8.31	1. 8	今宮第四へ	前田 真次	11.10. 9	14. 6	南高女へ

氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況	氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況
篠原 多嘉子	11.11.11	10.10	退職	吉村 稔	15. 4. 8	1. 0	退職
辰見 釣瑛	11.11.11	0. 1	退職	前田 嘉春	15. 4. 30	2. 0	退職
上阪 久野	11.11.11	0. 1	退職	西田 友信	15. 8. 30	22. 7	退職
黒田 英	11.11.15	21.11	退職	渡部 春江子	15. 9. 15	5. 7	退職
丸山 正志	12. 1. 31	1. 3	京都府へ	出口 憲昭	2. 3. 31	4. 0	豊里へ
安藤 茂	12. 3. 30	7. 0	堀江へ	桜井 喜三次	2. 4. 1	1. 0	解職
近藤 喜郎	12. 3. 31	0.11	死亡	山中 チヨ	2. 4. 11	1.10	解職
堀馬 治郎	12. 3. 31	1. 1	玉出第三へ	佐久間 あい	2. 12. 24	0. 3	退職
久保田 友雄	12. 3. 31	1. 1	退職	北口 義夫	3. 3. 31	3. 7	三国へ
神尾 好一	12. 3. 31	1.10	退職	榎原 三寿郎	3. 3. 31	2. 1	休職
藤原 ヨシエ	12. 3. 31	3. 1	粉浜へ	藤本 富子	3. 3. 31	4. 0	恵美第一へ
害崎 謙義	12. 4. 6	0.10	愛媛県へ	田中 光美	3. 3. 31	2. 0	天王寺へ
岡本 勇	12. 12. 28	0. 4	今宮第二へ	安永 英一	3. 3. 31	14. 8	退職
荒木 荘三	12. 12. 28	2. 4	岡山県へ	岡根 ミヨ	4. 2. 1	4. 4	退職
円丘 弥藏	12. 12. 28	0.11	玉出第三へ	佐久間 あい	4. 3. 31	7. 2	東京府へ
長田 寛三	13. 2. 26	1. 3	玉出第二へ	伊藤 好秋	4. 3. 31	13. 0	橘へ
北口 つや	13. 3. 31	0. 9	豊崎第三へ	近藤 佐十郎	4. 8. 31	10. 6	退職
森島 貞三	13. 3. 31	2. 1	退職	増田 ツネ子	5. 3. 31	14. 0	南百済へ
井川 義淳	13. 3. 31	1. 7	鶴州第三へ	武田 徹三	5. 3. 31	2. 5	死亡
今川 政子	13. 3. 31	6. 9	天王寺第二へ	首藤 美留	5. 3. 31	0. 5	津守第三へ
叶 義宏	13. 4. 24	2. 0	退職	大槻 作三	5. 3. 31	1. 7	本田へ
山中 敬孝	13. 6. 7	1.10	堺熊野へ	上口 千里	5. 3. 31	10.10	退職
村岸 俊一郎	13. 9. 24	0. 7	佃へ	長沢 和三郎	6. 1. 7	0. 7	退職
阿部 テル	14. 3. 31	9. 5	退職	内記 きぬ	6. 1.12	1. 9	退職
中村 千栄	14. 3. 31	2. 0	退職	吉川 勝実	6. 3. 31	14. 0	佐野青年へ
平田 利胤	14. 3. 31	9.10	難波塩草へ	岩橋 義一	6. 3. 31	10. 0	城東第二へ
大神 宗治	14. 3. 31	6. 9	退職	金森 久吉	6. 4. 20	5.10	中川へ
越川庄右エ門	14. 3. 31	0. 4	築港南へ	田中 以久	6. 6. 8	2.10	北田辺へ
飯田 米一	14. 3. 31	6. 0	豊崎第六へ	高槻 義夫	6.10.31	5. 6	阿部野へ
田中 米治	14. 3. 31	5. 0	退職	塩川 武夫	6.12. 1	1. 3	死亡
山本 健十郎	14. 3. 31	3. 0	今宮第五へ	島上 保	7. 1. 7	7. 3	晴明丘へ
福田 内蔵	14. 3. 31	0. 5	清堀へ	西ノ内 誠一	7. 3. 31	0. 5	今宮第四へ
西村 大之助	14. 3. 31	13. 0	退職	高橋 寿子	7. 3. 31	2. 6	退職
大和 静子	14. 3. 31	2. 5	退職	原田 光治	7. 3. 31	2. 2	退職
小倉 栄次郎	14. 3. 31	4. 6	芦分へ	小林 滿寿恵	7. 6. 28	6. 9	泉尾高等家政へ
片山 正作	14. 3. 31	18. 0	退職	土橋 茂治	7. 8. 31	11. 5	阪南へ
和田 コウ	14. 3. 31	9. 5	退職	北野 慶度	7. 9. 30	1. 6	死亡
松岡 孝義	14. 3. 31	14. 0	深江へ	大谷 繁登	8. 3. 31	5. 0	死亡
中田 修	14. 7. 10	1. 9	退職	稻垣 政雄	8. 3. 31	13. 0	退職
小田 良逸	14.10.14	15. 6	鶴橋第四へ	滝原 徳	9. 4. 23	1. 6	恵美第二へ
堀 ミチ	15. 3. 31	11. 6	退職	岸 茂子	8. 6. 15	1.10	退職
森倉 好造	15. 3. 31	11. 2	退職	高下 君代	8.11. 7	5. 9	退職
上阪 宗直	15. 3. 31	4. 1	城東職工	仁木 保	9. 3. 31	10. 6	退職
藤井 富子	15. 3. 31	1.10	死亡	柿花 百合子	9. 6. 9	0. 2	退職
織田 好枝	15. 3. 31	4. 9	退職	世古 よし	9. 6. 6	0. 2	退職

氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況	氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況
高岡 妙子	9. 8.31	10. 7	南河内黒山へ	鈴満 寿子	17. 4.30	2.10	泉北南池田へ
大西 チドリ	9. 8.31	2. 2	船場へ	井垣 節子	17. 6.30	2. 5	退職
田中 江津	9. 9.10	3. 7	南田辺へ	松林 ミツエ	17. 6.30	0. 9	退職
渡辺 哲三	9.10.15	8. 5	堺青年学校へ	野口 富子	17. 6.30	0. 9	退職
生駒 東治	10. 1. 4	1. 8	退職	仲谷 チカエ	17. 6.30	3. 9	退職
村野 誠	10. 5. 7	2.11	退職	樹下 愛	17. 6.30	3. 0	弘治へ
藤本 俊幸	10.10.31	5. 6	市岡第二へ	田中 由紀子	17. 6.30	0.11	退職
正井 米三郎	11. 3.31	4. 1	金額へ	広岡 観成	16.11.30	5. 0	退職
安部 千代	11. 8.31	7. 6	退職	萩内 茂夫	17. 3.31	1. 9	布施へ
中村 茂	11.10. 7	4. 4	退職	谷口 鵬	17. 3.31	4. 7	退職
増田 正太郎	11.12.18	1. 6	死亡	茶野 昌子	17. 3.31	3. 3	岸和田中央へ
神藤 光子	12. 3.31	1. 0	天王寺第五へ	村部 節子	17.12.28	1. 9	退職
山内 淳代	12. 4.10	3. 9	退職	住谷 正作	18. 1.31	3. 0	生野へ
吉田 定夫	12. 4.15	7. 6	戦死	北村 一郎	18. 3.31	3. 1	北中島へ
山本 由信	12. 3.31	0.11	今宮第一へ	高下 照治	18. 3.31	7. 0	立葉へ
大出 とみ子	12.11.15	3. 9	林寺へ	中川 梅	18. 3.31	6. 9	退職
山神 俊男	12.11.19	1.10	退職	辻 澄子	18. 3.31	1. 0	退職
加藤 つる	13. 3.31	7. 0	退職	西野 チヨエ	18. 3.31	1. 6	退職
八木 誠一	13. 3.31	2. 0	平野尋常へ	金田 綾子	18. 3.31	2. 6	退職
坂本 寿美恵	13. 4.11	0.11	退職	藤井 晴江	18. 3.31	0. 8	退職
上原 正治郎	13. 4.28	2. 0	退職	名井 満寿子	18. 3.31	1. 9	退職
尾松 重信	13. 9. 5	9. 6	磯路へ	大川 民夫	18. 3.15	1. 9	退職
郡 武夫	13. 8.31	6. 0	退職	瀬古 賢次郎	19. 1.15	2. 0	退職
島 延子	13. 8.31	22.10	退職	松岡 智雄	19. 2.29	2. 1	清水丘へ
中山 とも枝	14. 3. 7	1. 1	退職	上品 真五	19. 3.31	8. 0	精華へ
松川 春樹	14. 3.31	2. 0	玉出第三へ	児島 二郎	19. 3.31	0. 7	在満教務部へ
三好 明	14. 3.31	5. 8	高鷲へ	榎本 ヒサ	19. 3.31	1. 9	退職
増見 政子	14. 3.31	2. 0	堀江へ	平野 精一	19. 4.30	2. 0	退職
下野 貴一	14. 3.31	6. 0	退職	藤田 かね子	19. 4.30	1. 9	退職
芝池 時雄	14. 3.31	4. 2	死亡	中村 瞳子	19. 6.30	1. 6	退職
広岡 欽成	14.10.25	0. 5	退職	杉山 茂久	19. 9.30	3. 0	東淀川四中へ
正治 ミヨ	15. 3.10	2. 0	退職	小山 敏子	19.11.30	0. 7	弘治へ
中島 武司	15. 3.31	3. 0	加賀屋へ	柴田 比佐子	19.11.30	0. 7	退職
増田 美子	15. 3.31	2. 9	芦池へ	相良 春	19.11.30	0. 7	津守へ
小森 康寛	15. 3.31	1. 0	徳風へ	中田 良子	19.12.31	0. 7	安立へ
有菌 ヒサエ	15. 3.31	0. 8	依頼解職	森本 田鶴子	19.12.31	0. 6	南津守へ
平岡 卓馬	15. 9.30	5. 7	西粉浜へ	滝原 享	20. 3.31	0. 3	天下茶屋へ
松山 小夜	16. 1.31	2. 5	死亡	藤本 幹夫	20. 3.31	0. 3	南津守へ
伊藤 祐円	16. 3.31	1. 2	退職	中村 敏子	20. 3.31	13. 0	今川へ
広谷 義郎	16. 3.31	1. 0	退職	吉川 雅子	20. 3.31	0. 3	丸山へ
高橋 寅三	16. 3.31	4. 3	堺青年学校へ	上林 美弥子	20. 3.31	0. 3	安立へ
中川 一夫	16. 3.31	6. 0	桃谷へ	船木 昌余	20. 3.31	0. 3	退職
浜村 敏子	16. 3.31	4. 3	泉北取石へ	小田原 嫫	20. 3.31	0. 3	大宝へ
辻 美智子	16. 3.31	1. 6	東京都山向	小林 敏子	20. 3.31	0. 3	生野へ
青井 真砂	16. 3.31	5. 0	休職	吉崎 龍	20. 3.31	4. 0	

氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況
田中 誠治	21. 3.31	2. 0	西成四中へ
篠原 満男	21. 4.16	3. 1	阿部野四中へ
加藤 直一	21. 4.16	2. 3	弘治へ
山本 宗吉	21. 3.31	7. 7	死 亡
米川 誠造	22. 5.31	9.10	退 職
中信 良久	22. 6.30	4. 9	退 職
岡本 喜美子	22. 7.10	3. 9	西船場へ
上条 清隆	23. 3.31	6. 0	住吉へ
松下 炳二	23. 5. 5	3. 4	中川へ
岡林 愛子	23. 8.31	6. 7	墨江へ
元山 秀男	24. 3.31	0. 9	四貴島へ
台谷 芳子	24. 3.31	2. 0	退 職
三宅 崇弘	24. 4.20	18. 0	退 職
河野 照雄	25. 1. 5	11. 3	阿部野中へ
日夏 千代	25. 1. 5	1.11	滋賀県甲賀高校へ
西口 園子	24.11.30	13. 5	橋へ
北井 一子	25. 3.31	2. 0	滝川へ
中信 和子	25. 6.31	14. 9	精華へ
倉矢 美狄子	25. 7. 5	1. 2	退 職
西 宗紀	25. 3.31	9. 0	恵美へ
瀬古 賢次郎	25. 4.30	5.11	大隅へ
山口 正	26. 4. 1	16. 0	巽へ
磯口 典美	26. 4.16	12. 5	退 職
宮地 正毅	26. 4.23	3. 0	柴島中へ
池尻 豊和	26. 8. 1	0. 8	退 職
裏 栄太郎	26. 9. 1	8. 6	退 職
宇佐美 泰彦	26.10. 1	8. 5	玉出中へ
山中 和哉	27. 3.15	5. 1	玉出へ
山本 親義	27. 4. 1	12. 0	退 職
飯田 裕之	27. 4. 1	8. 0	加美中へ
大高 慎吾	27. 4. 1	13. 0	南田辺へ
井上 澄子	27. 4. 1	5. 0	安立へ
谷口 香	28. 4. 1	0. 9	退 職
井田 寛	28.11. 1	11. 5	三軒家東へ
安川 正一	28.11.16	7. 5	港中へ
高畑 信子	29. 3.16	6. 0	東淡路へ
太田 謙自	29. 4. 1	4. 0	加島へ
松井 貞子	29. 4. 1	3. 5	阪南へ
河本 美代子	29. 2. 1	12. 1	港晴へ
林 三恵子	29.11.16	1. 5	磯路へ
石西 尚一郎	30. 3.31	6. 0	長橋へ
河上 芳子	30. 3.31	9. 7	死 亡
高橋 宏	31. 4. 1	11. 0	高殿へ
塩谷 博	31. 4. 1	4. 0	新庄へ
坂江 直	32. 4. 1	9. 0	吉野へ

氏名	本校着任年月日	在職期間	当時の転退職状況
田中 晴子	32. 4. 1	5. 0	今福へ
吉田 明秀	32. 4. 1	4. 0	放出中へ
石西 文子	32. 4. 1	5. 0	平尾へ
鍛谷 良幸	32. 4. 1	5. 6	退 職
谷 二郎	32. 9. 1	7. 7	西中島へ
森田 美恵子	32. 9. 1	0. 7	長吉へ
石川 節子	33. 4. 1	1. 1	退 職
北川 孝治	32. 4. 1	4. 0	茨田北へ
藤川 泰信	34. 5. 1	5. 9	御幸森へ
柳下 照子	35. 4. 1	6. 0	橋へ
加島 了	35. 4. 1	2. 0	南田辺へ
伊東 正一	35. 8.31	2. 9	あいりん小中へ
松田 欽吾	36. 4. 1	5. 0	港晴へ
井本 幸太郎	36. 4. 1	6. 0	退職(学大池田附小)
市位 輝一	37. 4. 1	5. 0	都島へ
和泉 和子	37. 5	0.10	退 職
西村 恵永	38. 4. 1	2. 0	長吉へ
村田 保男	39. 4. 1	2. 0	高松へ
荒岸 啓一	39. 4. 1	3. 0	高松へ
荒木 賀代	39. 4. 1	1. 0	退 職
中井 志津子	38. 4. 1	1. 0	府立盲学校へ
尾崎 寿子	38. 4. 1	0. 4	退 職
小西 敏文	40. 4. 1	2. 0	福島へ
池側 武次	41. 4. 1	1. 0	堺工高へ
浅野 竹江	41. 4. 1	1. 0	姫島小へ



## 同窓会の動向

### 同窓会を復活

戦前さかんに活動していた同窓会は、やむを得ない事情で、戦後は久しく休止の状態になっていた。奥森太郎校長先生は、このままでは会員諸氏及び学校としてもまことに残念なことである。昭和27年は本校創立35周年にあたるので、その記念事業として是非復活させて会員相互の親睦をはかりたいと願われ、たいそう骨をおられた。まずその準備委員として、当時の実行委員の大津寄共助、川村喜一、大西元徳、河合福山、恒川専一、高橋慶子、宮本和三郎、須藤冬子の諸氏を中心として、各町から準備委員を4名～5名の選出を依頼された。会員諸氏はかねてから同窓会の復活を待ち望んでいたので、準備委員はすみやかに決定し同窓会組織準備委員会が成立した。昭和27年11月16日、27日に二回委員会を開いて、会則作成、総会開催、役員決定について協議した。

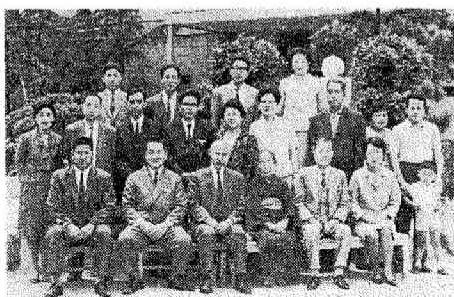
昭和27年12月7日（日曜）復活同窓会開催、実行委員および準備委員の方々の熱意と協力によって総会を開催した。当日は歴代の校長先生、教頭先生、栄賞、旧職員の方々が出席され、会員300名参加し、盛大で、などやかなふん開氣につつまれ関係者一同は、会の成功を喜びあった。

### 会の組織

母校の校長を顧問とし、会長1名、副会長（男女各1名）書記1名、会計1名、年次幹事（卒業時各学級より男女各1名宛選出）

### 会の運営

会則により、総会は、春季は校内、秋季は校外（ハイキング）と、年2回開催している。定例役員会を2回開いて総会開催について協議する。必要があれば隨時に役員会を開くこともある。



経費は卒業時に納める1人200円の会費と、有志の寄付によってまかなっている。

春季総会には、会員は250名～300名参加する。その大部分は中学生であるが、近年高校生の参加者が、しだいに多くなってきた。

会長は西口昭二郎、信耕豊氏、日比野正雄氏に引き継がれた。三会長は、この土地に生まれ、育ち、そして社会人となり、校下は、もちろん、区内の青少年の育成にも、力を尽されている方々です。

## 終わりに

本校50年の移り変わりをわずかの資料をもとにやっと編集のはこびにもちこみました。

学校は大正7年の米騒動からはじまって、たび重なる台風、戦災等はげしい苦難の道を歩みながらも、今日の輝然とした雄姿をほこっているのには先輩諸氏のご尽力のはどいかばかりかと偲ばれます。

このご労苦におこたえするのには、まことにはずかしい記念誌ではございますが、わたしたち編集委員はいそがしいあい間をぬいまして、できる限りの努力をしてきたつもりです。

不備なところは多いとは思いますがこのなかから子どもたちの成長ぶりや校下の皆さんのにじみ出る愛校心を読みとっていただきますれば幸いです。

この喜ばしい記念日をもとに、学校はもちろん本校下のさらにさらに発展することをお祈りするとともに、ご多用中にもかかわりませず、ごむりな原稿をお願いしまして、お気持ちよくご寄稿くださいましたことを心よりお礼申しあげます。

### ＜編集にたずさわった人＞

藤田 嶽、田名瀬善三郎、三輪政江、徳谷キクエ、四条愛子、正木 勝、河野静雄、吉野 武、向川幹雄、大谷 正。

## 創立50周年記念誌

○発行 昭和42年6月21日

○発行人 大阪市立萩之茶屋小学校  
高 清 正 勝

○印刷 但馬印刷株式会社